

事業概要シート

施策 1101 交通安全の推進

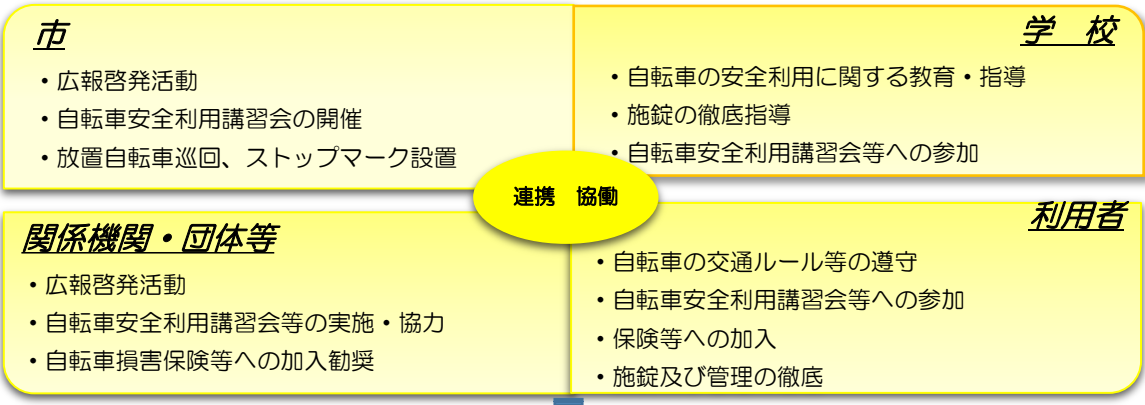
<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	自転車安全利用促進事業	現状維持	予算額	1,029 千円
				<< 1,060 >>千円
事業期間	平成26年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市自転車の安全利用及び自転車等の放置防止に関する条例		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	1,029 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 1 目的：自転車の安全利用の促進、公共の場所における放置防止対策等を図り、自転車の交通事故防止とともに、安全で快適な市民生活を確保する。
- 2 概要：スケアードストレート方式による自転車交通安全教室、放置自転車巡回作業等
 ※ 「スケアードストレート」～ 恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法
- 3 対象：市民

「大村市自転車の安全利用促進及び自転車等の放置防止に関する条例」に基づく取組



自転車事故 + 自転車盗難 + 放置自転車等

減

安全・安心なまちづくりの実現

【背景】

大村市は、自転車の利用者が県内で最も多く、それに伴い自転車に関連する交通事故の件数も県内で最多という状況である。スケアードストレート方式による自転車交通安全講習会の実施など、自転車の交通ルールとマナーの遵守徹底の強化を図る必要がある。

担当課	総務部安全対策課	課長	針山 健
担当者	平野 幸恵	問合せ先	0957-53-4111 (内線214)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	安全講習会等啓発活動実施回数	回	4	4	4	4	4
②	放置自転車撤去台数	台	72	50	20	20	20

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	自転車事故発生件数	件	31	30	40	40	40
②	自転車盗難件数	件	65	50	50	50	50

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	779	897	1,060	1,029	1,029	1,029	5,823
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	779	897	1,060	1,029	1,029	1,029	5,823
人件費	847	747	727	727	727	727	4,503
職員(人)	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.60人
時間外勤務(h)	60h	10h	0h	0h	0h	0h	70h
嘱託員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	1,626	1,644	1,787	1,756	1,756	1,756	10,326

妥当性 (市の関与)	「大村市自転車の安全利用促進及び自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、自転車関連の事件事故防止を図り、市民の安全で快適な生活環境の確保のため、市が主体となって事業を実施する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	自転車の安全利用及び放置防止対策を講じることで、市民の安全で快適な生活環境を確保できる。
効率性 (コスト)	必要最小限のコストで計画しているため、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり